

老人クラブにおける  
「地域支え合い活動」アンケート調査  
集 計 報 告 書

令和2年度

きららクラブ山形

一般社団法人山形県老人クラブ連合会

## I 調査概要

### 1 調査目的

高齢者が住み慣れた地域で、いつまでも自分らしく暮らすことができるよう国や県では「地域包括ケアシステム」の構築がすすめられており、介護保険制度では補えない高齢者の日常生活における支援の仕組みづくりに老人クラブの「地域支え合い・友愛活動」の取り組みが各地域で期待されています。

本会では、「高齢者による地域支え合い推進事業」として市町村老連または地区・単位クラブが取り組む「地域支え合い事業」に助成委託をする事業を推進していますが、昨年度市町村老連を対象に行った「地域支え合い事業に関するアンケート」では、約半数が助成委託を受けておらず、今後についても「実施する予定がない」という回答でした。

本調査では、各単位クラブの「地域支え合い・友愛活動」の実態調査を行い、活動状況や課題や意向等を把握し、今後地域支え合い活動を展開する老人クラブにより良い情報や研修の機会を設け支援することを目的として調査を実施しました。

### 2 調査内容

- |            |                                      |
|------------|--------------------------------------|
| (1) 調査対象   | 山形県内単位クラブ 947ヶ所                      |
| (2) 調査方法   | 市町村老連を通じて各単位クラブに調査を依頼し、各単位クラブから回答を得る |
| (3) 調査期間   | 令和2年12月1日(火)～令和3年2月28日(日)            |
| (4) 調査実施主体 | 一般社団法人山形県老人クラブ連合会                    |
| (5) 調査協力   | 市町村老人クラブ連合会                          |
| (6) 回収方法   | 調査票を記入後、添付されている返信用封筒にて各単位クラブが本会に直接郵送 |

### 3 回収状況

調査対象となる山形県内単位クラブ947ヶ所に対し、返信用封筒にて651通、その他(普通郵便及び市町村老人クラブ連合会経由)3通、合計654通(回収率69%)であった。

令和3年3月

発行：一般社団法人山形県老人クラブ連合会

住所：〒990-0021 山形市小白川町2-3-31(県総合社会福祉センター内)

電話：023-622-5601 FAX：023-622-5606

ホームページ：https://www.kirara-yamagata.or.jp

Eメール：yrouren@poplar.ocn.ne.jp

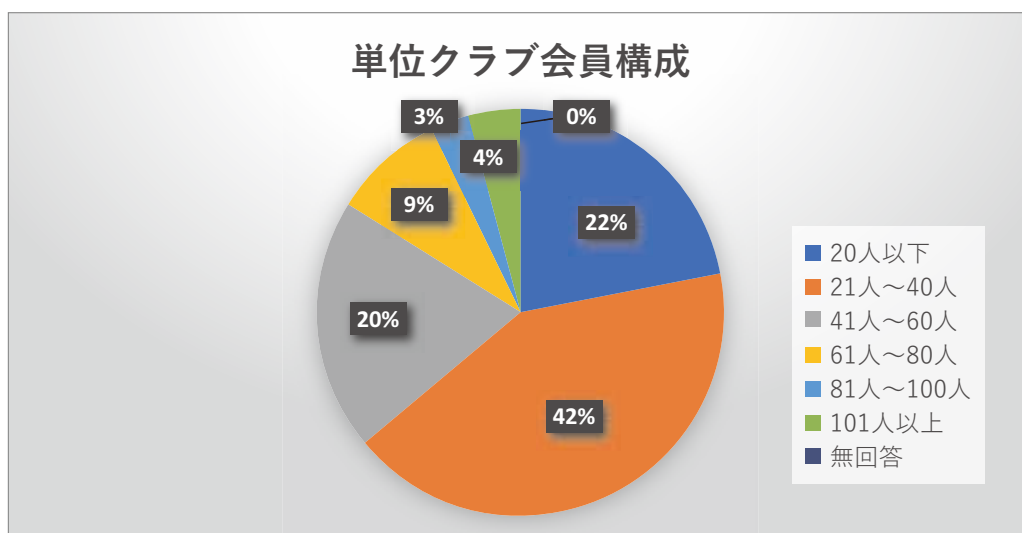
# 老人クラブにおける地域支え合い活動のアンケート回収集計報告

市町村別回収集計表（令和2年12月3日～令和3年2月28日現在）

市町村	支部名	依頼枚数 (クラブ数)	市町村提出合計	回収率
山形市		70	50	71%
米沢市		25	18	72%
鶴岡市	鶴岡支部	50	32	64%
鶴岡市	朝日支部	8	5	63%
鶴岡市	櫛引支部	19	11	58%
鶴岡市	羽黒支部	9	6	67%
鶴岡市	温海支部	10	6	60%
鶴岡市	藤島支部	8	5	63%
酒田市	酒田支部	78	57	73%
酒田市	松山支部	3	1	33%
酒田市	平田支部	9	4	44%
酒田市	八幡支部	5	3	60%
新庄市		28	20	71%
寒河江市		17	17	100%
上山市		21	15	71%
村山市		38	31	82%
長井市		24	22	92%
天童市		22	15	68%
東根市		45	26	58%
尾花沢市		32	15	47%
南陽市		19	16	84%
中山町		8	6	75%
山辺町		10	6	60%
大江町		24	18	75%
朝日町		20	16	80%
西川町		20	17	85%
河北町		29	21	72%
大石田町		13	9	69%
舟形町		13	9	69%
大蔵村		12	7	58%
戸沢村		10	6	60%
鮭川村		11	9	82%
真空川町		25	13	52%
金山町		14	5	36%
最上町		27	16	59%
高畠町		15	11	73%
川西町		27	19	70%
白鷹町		4	4	100%
飯豊町		11	7	64%
小国町		17	11	65%
三川町		5	5	100%
庄内町		15	10	67%
遊佐町		77	52	68%
不明・匿名		0	2	
合計		947	654	69%
受取人払（後納）			651	
その他 (別送付等)			3	

## Ⅱ 調査結果

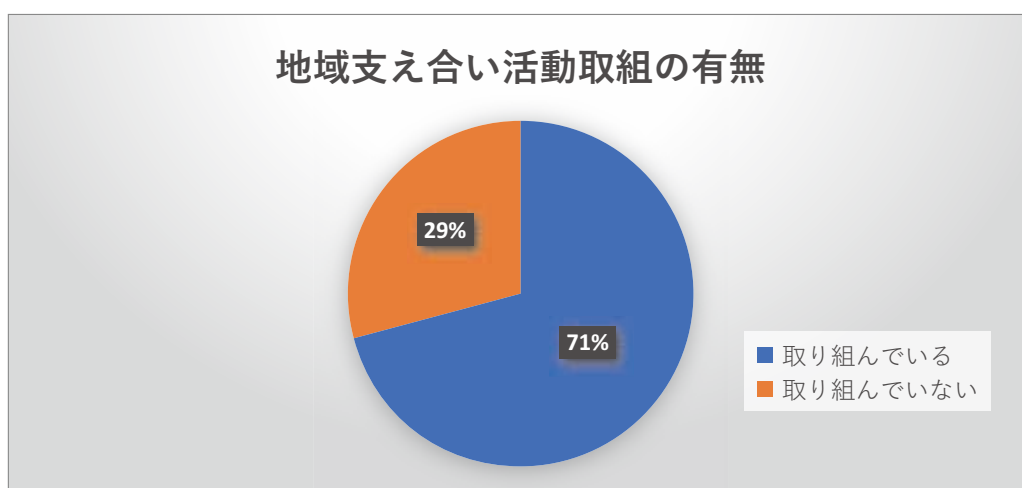
### 問1 老人クラブ基本情報（会員数）



n = 654

回答番号	内容	回答数	割合
①	20人以下	145	22%
②	21人～40人	275	42%
③	41人～60人	131	20%
④	61人～80人	56	9%
⑤	81人～100人	20	3%
⑥	101人以上	25	4%
⑦	無回答	2	0%
合計		654	

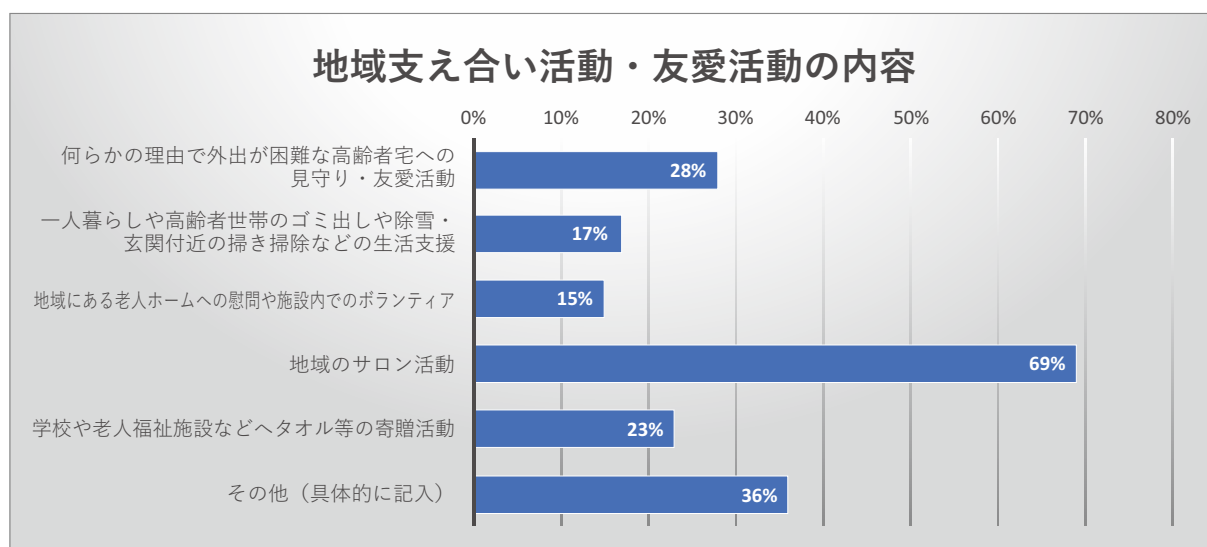
### 問2 老人クラブ活動の中で、地域支え合い活動または友愛活動に取り組んでいますか。



n = 654

回答番号	内容	回答数	割合
①	取り組んでいる	464	71%
②	取り組んでいない	190	29%
合計		654	

問3 地域支え合い活動・友愛活動の取り組みについて、どのような活動をしていますか。



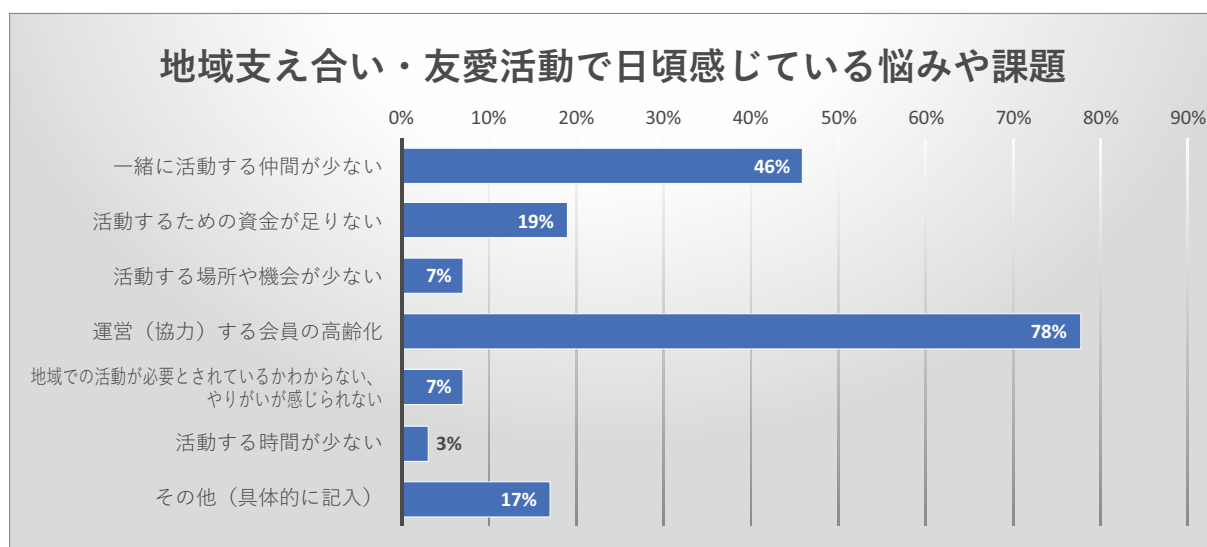
n= 464

回答番号	内容	回答数	割合
①	何らかの理由で外出が困難な高齢者宅への見守り・友愛活動	129	28%
②	一人暮らしや高齢者世帯のゴミ出しや除雪・玄関付近の掃き掃除などの生活支援	80	17%
③	地域にある老人ホームへの慰問や施設内でのボランティア	68	15%
④	地域のサロン活動	321	69%
⑤	学校や老人福祉施設などへタオル等の寄贈活動	107	23%
⑥	その他（具体的に記入）	166	36%
合計		871	

問3. その他の具体的な活動内容	
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 地域内環境美化・花植え管理活動</li> <li>▶ 健康体操等の実施</li> <li>▶ 学習・ニュースポーツ・研修旅行等の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 地域文化伝承・子ども見守り交流活動</li> <li>▶ 自治会の支え合い活動協力・防災活動</li> <li>▶ タオル・清拭布等の寄贈活動</li> </ul>

【分析と評価】
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 回答は、地域内での「支え合い・友愛活動」が多岐にわたり行われていることから複数回答となった</li> <li>▶ 活動の内容で最も高かったのは、④「地域のサロン活動」が69%で、老人クラブが取り組みやすい活動として、地域に定着させていることの評価は高い</li> <li>▶ 次いで⑥「その他」が36%と多く、そのほとんどが地域内環境美化・花植え管理等の奉仕活動であった</li> </ul>

問4 地域支え合い活動・友愛活動をする中で、日ごろ感じている悩みや課題などを教えてください。(複数回答可)



n= 464

回答番号	内容	回答数	割合
①	一緒に活動する仲間が少ない	213	46%
②	活動するための資金が足りない	89	19%
③	活動する場所や機会が少ない	33	7%
④	運営（協力）する会員の高齢化	361	78%
⑤	地域での活動が必要とされているかわからない、やりがいが感じられない	31	7%
⑥	活動する時間が少ない	15	3%
⑦	その他（具体的に記入）	80	17%
合計		822	

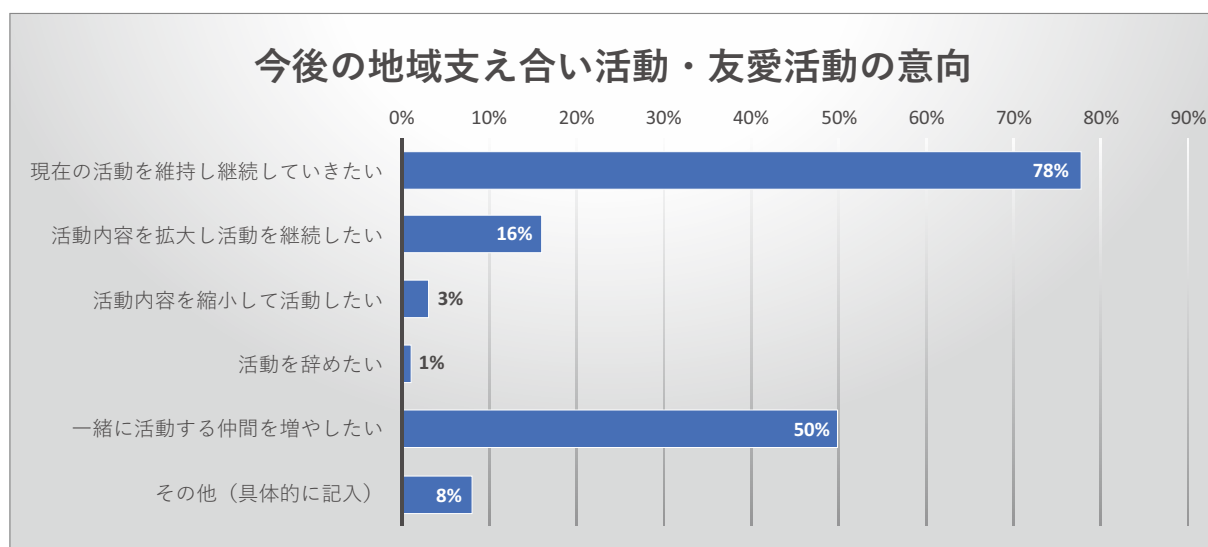
問4. その他「日頃感じている悩みや課題」

- ▶ 関心が無い
- ▶ 協力者の固定化、人材不足
- ▶ コロナによる活動不振
- ▶ 若手の担い手不足
- ▶ 他団体との連携困難
- ▶ 協力者の高齢化
- ▶ 認知症の方への対応が大変
- ▶ 支え合いが必要な地域の実態情報が得られない

【分析と評価】

- ▶ 活動で日頃感じている悩みや課題では、④「運営（協力）する会員の高齢化」が圧倒的に多く、老人クラブそのものの高齢化現象が課題となっている
- ▶ 次いで①「一緒に活動する仲間が少ない」は、会員の高齢化により協力者に限界があること、新しい会員(若手世代)の加入が少ないため活動の維持が難しくなっている
- ▶ ⑦「その他」では、協力する人が固定化され、協力者1人の負担が大きくなっていると考えられる。また会員減少による人材不足も多く回答された

問5 今後の地域支え合い活動・友愛活動について、意向をお聞かせください。



n= 464

回答番号	内容	回答数	割合
①	現在の活動を維持し継続していきたい	363	78%
②	活動内容を拡大し活動を継続したい	73	16%
③	活動内容を縮小して活動したい	15	3%
④	活動を辞めたい	6	1%
⑤	一緒に活動する仲間を増やしたい	233	50%
⑥	その他（具体的に記入）	37	8%
合計		727	

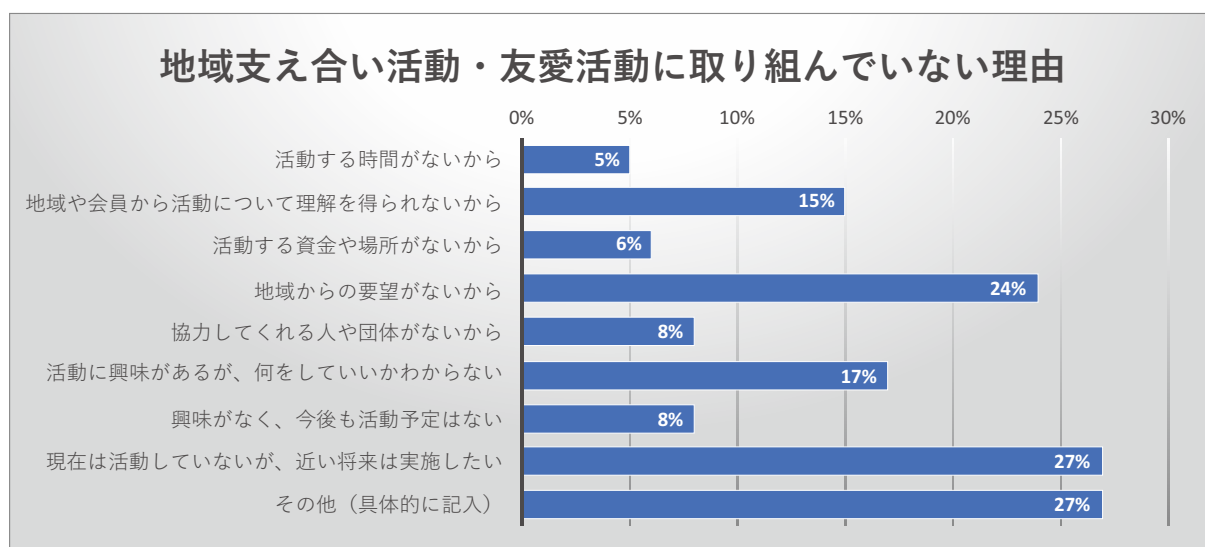
問5. その他「活動の意向」

- ▶ コロナ収束後の検討
- ▶ 協力者の高齢化・人材不足を解消したい
- ▶ 協力してくれる団体と連携していきたい
- ▶ 地域の若手世代に理解してほしい
- ▶ 地域内の団体による役割を明確化したい
- ▶ クラブそのものが休会・解散を検討している
- ▶ 社会や地域との繋がりをもっと強化していきたい
- ▶ 小さなことからでも活動していきたい
- ▶ 活動の場を確保していきたい

【分析と評価】

- ▶ ①「現在の活動を維持し継続していきたい」は、全体の78%と実施しているクラブで活動の必要性とやりがいを持っていると思われる
- ▶ 活動を維持し継続するためには、協力してくれる仲間を増やすことがもっとも重要であるが、60～70代の若手世代への呼びかけを他団体と連携していく必要があると思われる

問6 地域支え合い活動・友愛活動に取り組んでいない理由は何ですか。



n= 190

回答番号	内容	回答数	割合
①	活動する時間がないから	10	5%
②	地域や会員から活動について理解を得られないから	29	15%
③	活動する資金や場所がないから	11	6%
④	地域からの要望がないから	46	24%
⑤	協力してくれる人や団体がないから	15	8%
⑥	活動に興味があるが、何をしたいかわからない	33	17%
⑦	興味がなく、今後も活動予定はない	16	8%
⑧	現在は活動していないが、近い将来は実施したい	52	27%
⑨	その他 (具体的に記入)	51	27%
合計		263	

問6. その他「取り組んでいない理由 (具体的)」

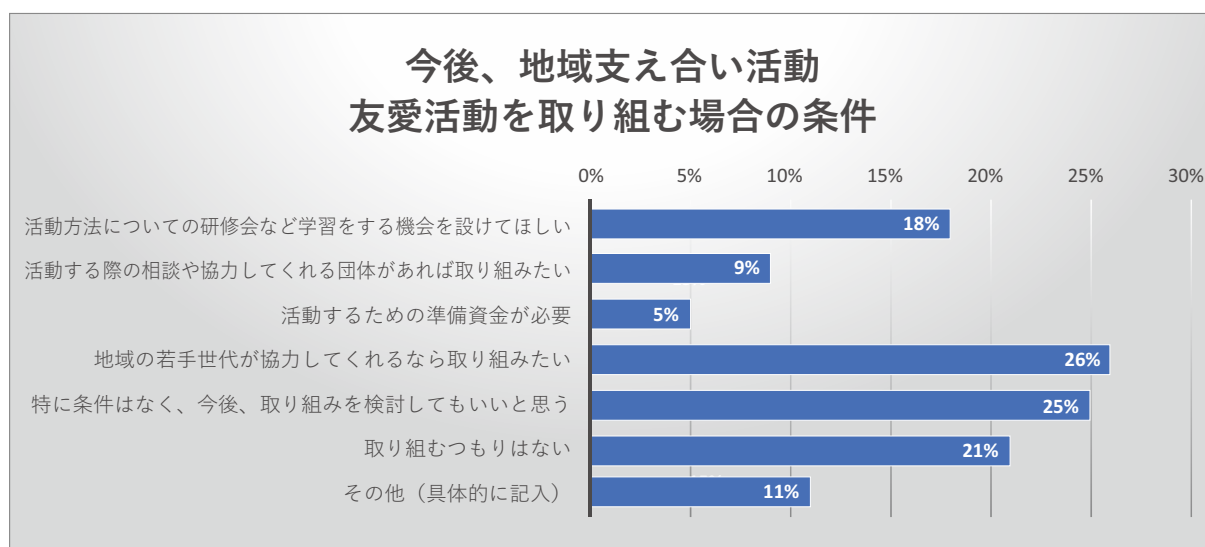
- ▶ 自治会、他の団体が取り組んでいるから
- ▶ 会員の高齢化とクラブが縮小しているから
- ▶ 身体的理由
- ▶ 他人介入はしない方がいいと思う
- ▶ コロナのためやれないと思う
- ▶ 老人クラブ会則等に活動の項目が無いから
- ▶ クラブが結成したばかりで友愛活動はしていない
- ▶ 地域に困っている人がいないから
- ▶ 「やらされ感」があると思う

【分析と評価】

- ▶ 問2で②「取り組んでいない」と回答した中で、多岐にわたり理由をあげるクラブが多く複数回答となった
- ▶ 最も多かった回答が⑧「現在は活動していないが、近い将来は実施したい」と⑨「その他」で同じ27%であった
- ▶ ⑧「現在は活動していないが、近い将来は実施したい」は前向きな意見と捉えられるが、⑨「その他」では、「自治会、他の団体が取り組んでいるから」や「会員の高齢化により思うように活動できない」という理由が多く挙げられている
- ▶ 「支え合い・友愛活動」は、どのような活動をするのか、どういった運営をするのかなど活動に関する具体的な情報提供がもっと必要であると考えられる



問7 今後、地域支え合い活動・友愛活動を取り組むとしたら、こういった条件があれば取り組みますか。



n= 190

回答番号	内容	回答数	割合
①	活動方法についての研修会など学習をする機会を設けてほしい	34	18%
②	活動する際の相談や協力してくれる団体があれば取り組みたい	18	9%
③	活動するための準備資金が必要	10	5%
④	地域の若手世代が協力してくれるなら取り組みたい	49	26%
⑤	特に条件はなく、今後、取り組みを検討してもいいと思う	48	25%
⑥	取り組むつもりはない	39	21%
⑦	その他（具体的に記入）	21	11%
合計		219	

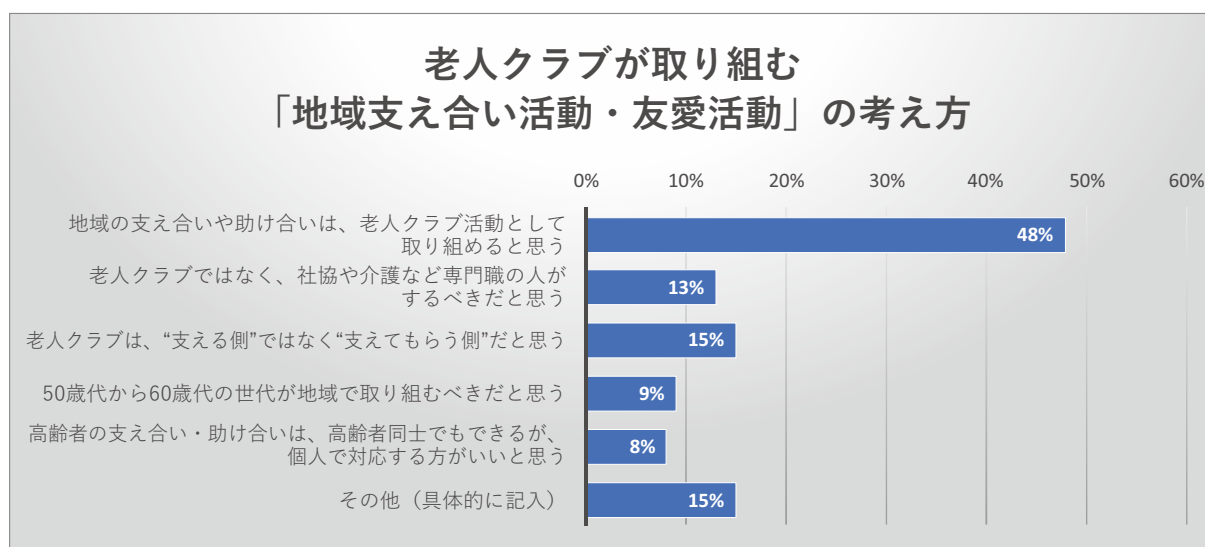
#### 問7. その他「活動の意向」

- ▶ コロナが収束すること
- ▶ 会員が増えればやれると思う
- ▶ 何をしても取り組めない
- ▶ 出来る限り実施してみたい
- ▶ 自治会や他の団体が協力してくれるなら実施してみたい
- ▶ 「支えられる側」の家族から理解が得られればやる

#### 【分析と評価】

- ▶ ④「地域の若手世代が協力してくれるなら取り組みたい」の26%と⑤「特に条件はなく、今後、取り組みを検討してもいいと思う」の25%がほぼ同じ割合であり、地域の60～70代の若手世代の加入と協力が強く望まれているが、その他は、特に条件がなくても取り組みを検討する意向があったことは評価が高い
- ▶ また老人クラブには①「活動方法についての研修会など学習をする機会を設けてほしい」にあるように、支え合いや友愛活動をする上での制度や具体的な活動の取り組みに関する学習の場や情報を取得する機会が必要と思われる
- ▶ ⑥「取り組むつもりはない」は、クラブの存続を維持するため、無理をしないという率直な意見と考えられる

問8 老人クラブとして取り組む「地域支え合い活動・友愛活動」について、団体としての考えを1つ選んでください。



n= 654

回答番号	内容	回答数	割合
①	地域の支え合いや助け合いは、老人クラブ活動として取り組めると思う	314	48%
②	老人クラブではなく、社協や介護など専門職の人がすべきだと思う	87	13%
③	老人クラブは、“支える側”ではなく“支えてもらう側”だと思う	98	15%
④	50歳代から60歳代の世代が地域で取り組むべきだと思う	56	9%
⑤	高齢者の支え合い・助け合いは、高齢者同士でもできるが、個人で対応する方がいいと思う	55	8%
⑥	その他（具体的に記入）	98	15%
合計		708	

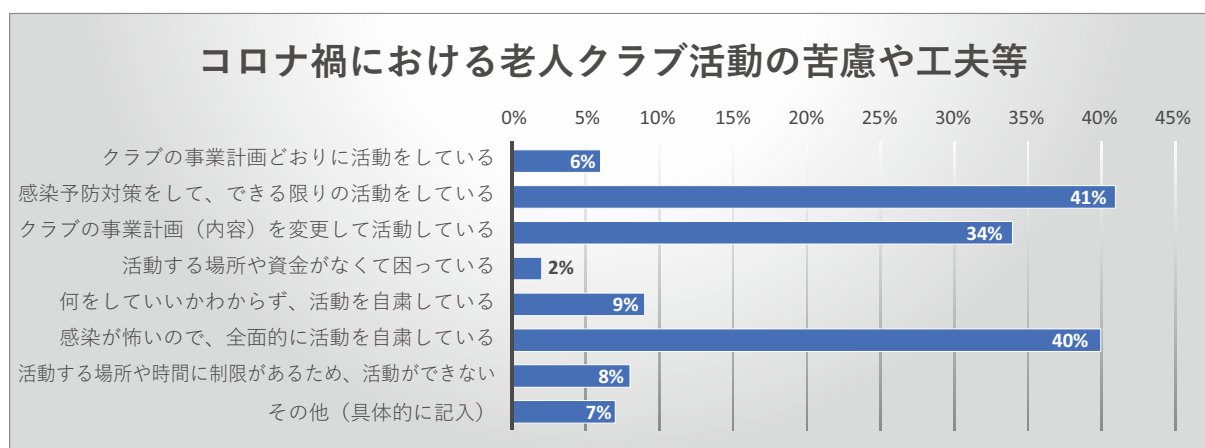
問8. その他「地域支え合い・友愛活動の考え方」

- ▶ 60～70代の若手世代の関心が高まって欲しい
- ▶ 同年代だからこそその活動ができると思う
- ▶ リーダーになる人がいると良い
- ▶ 自治会とのタイアップや行政等の指導など協力体制が必要だと思う
- ▶ 地域の結びつきが必要。近隣との付き合いがなく孤立する人も多くなるので、出来る範囲でやる方が良いと思う
- ▶ 「支える側」と「支えてもらう側」の両方だと思う
- ▶ 「支える側」と「支えてもらう側」の年齢差があって難しいと思うが、「支える側」になることで健康寿命を伸ばすことができると思う
- ▶ 活動の負担が大きいと長続きしないと思う
- ▶ 定年退職の年齢が上がっているから無理だと思う
- ▶ 会員が減少しているから支え合い活動は無理ではないか
- ▶ 行政が設置する協力員や推進員がいるから老人クラブはする必要がないと思う
- ▶ 行政が老人クラブ活動を評価していない
- ▶ 高齢者が軽スポーツや研修旅行などの活動を楽しんで健康でいることが社会貢献だと思う
- ▶ 気軽に取り組める支え合い・友愛活動を示してもらいたい

【分析と評価】

- ▶ 回答は、団体としての考えを1つと提示したが、複数回答が多数あったため全回答数は708となる
- ▶ ①「地域の支え合いや助け合いは、老人クラブ活動として取り組めると思う」が全体の48%と最も高く、より良い情報を提供し、今後の活動に期待したい

問9 現在、老人クラブ活動全般において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により活動に苦慮されていること、工夫していることなど教えてください。（複数回答可）



n= 654

回答番号	内容	回答数	割合
①	クラブの事業計画どおりに活動をしている	42	6%
②	感染予防対策をして、できる限りの活動をしている	268	41%
③	クラブの事業計画（内容）を変更して活動している	222	34%
④	活動する場所や資金がなくて困っている	14	2%
⑤	何をしていたかわからず、活動を自粛している	61	9%
⑥	感染が怖いので、全面的に活動を自粛している	260	40%
⑦	活動する場所や時間に制限があるため、活動ができない	50	8%
⑧	その他（具体的に記入）	49	7%
合計		966	

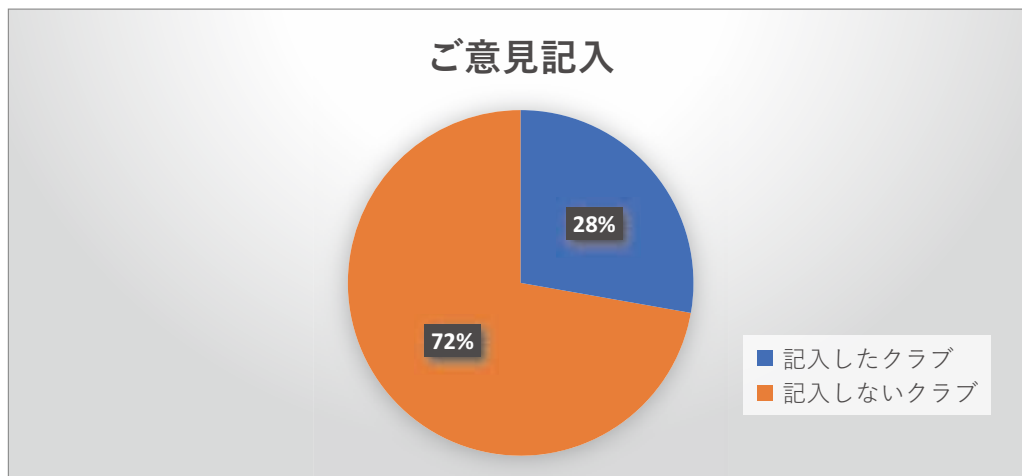
#### 問9. その他「コロナ禍における老人クラブ活動の苦慮や工夫」

- ▶ 参加者が固定化しているため活動はしている
- ▶ マスクを着用し、飲食をしない活動をしている
- ▶ 役場の指導を受けながら実施した
- ▶ 日帰り旅行や講和・お茶のみ会は自粛、会員のお誕生日に記念品を贈呈した
- ▶ ほとんどの行事は中止にしたが、小学生との交流は実施した
- ▶ ワナゲ大会は縮小、しめ縄づくりも少人数で実施した
- ▶ 検温器を用意し、少人数に分け健康体操を週2回実施している
- ▶ 希望者のみでワナゲ練習や神社仏閣等の環境美化活動を実施
- ▶ 役員だけで活動の可否をその都度判断し、感染者が落ち着いた10～11月に活動を行ったが現在は自粛している
- ▶ 地域活動は自粛が徹底しているため、連合会事業に参加している
- ▶ 活動の際、車の乗り合わせを行っているが感染予防と事故防止のため乗り合わせができず大変だ
- ▶ 総会や研修等の活動を中止・延期にせざるを得なかった
- ▶ 回覧板を作りいろんな情報と励ましを伝えている
- ▶ 出来る事をさがし、会員と会費活用のため事業の際にお弁当を配布した
- ▶ 例年の行事はすべて中止、個人ごとに支え合っている様子が伺える
- ▶ 感染症の怖さを知っているため徹底して出かけない

#### 【分析と評価】

- ▶ 各地域の老人クラブ活動は、②「感染予防対策をして、できる限りの活動をしている」が全体の41%と最も多いが、⑥「感染が怖いので、全面的に活動を自粛している」が40%とほぼ同じ回答率で回答が割れた
- ▶ 3番目に多い③「クラブの事業計画（内容）を変更して活動している」が34%と②「感染予防対策をして、できる限りの活動をしている」の41%を合わせると7割以上が何らかの形で活動を継続していることがわかる

問10 その他、ご意見がありましたら下記にご記入ください。



n= 654

回答番号	内容	回答数	割合
	記入したクラブ	186	28%
	記入しないクラブ	468	72%
合計		654	

#### 問10. 意見の集約

- ・コロナ対策で活動を中止しているが、地域内での老人クラブ活動自体も関心が薄く今後のクラブの弱小化が懸念され、コロナ収束後の活動が不安である
- ・コロナにより支え合い活動は地域で必要になっているので、電話やメールを使い孤独にしないよう心掛けている
- ・60～70代の若手世代が加入しない。また会員構成では男女に偏りがあって運営に影響がある
- ・現代では個人主義が進み戦後に組織された婦人会や老人クラブの存在意識が現代に合っていないような気がするので、見直しが必要ではないか
- ・支え合いなどの制度について解らず行政担当も老人クラブを理解していないように思える。もっと高齢者福祉について理解を深めるため、行政や自治会・民生委員との連携が必要と思う
- ・老人クラブの活動や運営は、面白いと楽しむ気持ちになることが大切だと思う
- ・活動するため補助金を増やしてほしい。また補助金申請のための提出書類が多く、わずらわしいので簡単にしてほしい
- ・地域内で支援を必要とする高齢者が特定の人から個人的な支援を受けることで、その人の立場を弱くし自尊心を傷つけないか、地域全体で他団体と連携しながら個人情報やプライバシーを守り、個人的な弱みを背負うことのないようにするとい
- ・地域では社協や他の団体が取り組んでいるので老人クラブがやる必要がない
- ・認知症予防は、全部の老人クラブが活動で取り組むといい
- ・伝統芸能や交通安全等で活動する高齢者が多くいるので、地域のためにやりがいのあるクラブにしたい
- ・老人クラブで「支え合い・友愛活動」という言葉を初めて聞いたので、末端の単位クラブまで情報が行き届いていないか情報が不足しているのではないか
- ・老人クラブ内に若い人たちのグループを作って、自由に活動できるように環境を整備して若手を育てていく
- ・「支え合い・友愛活動」は無理をせずできる範囲で活動することが良いと思う

#### 【分析と評価】

- ・意見のあった回答は全体の28%であり、老人クラブの「支え合い・友愛活動」に関わらず組織体制や他団体との関わりなどさまざまな意見が寄せられ、その中でも「支え合い・友愛活動」を前向きにとらえ、生きがいづくりや地域づくり活動として継続または実践していこうとするクラブの向上心も多く見られた
- ・一方、老人クラブ会員の高齢化と減少に伴い、「支え合い・友愛活動」の協力者が減少し、活動を継続または維持していけるかという“先の見通しが見えない不安”を常に抱えていることも把握していなければならぬ。今後、地域を担うであろう定年退職者や地域活動に興味がある60～70代の方々に、老人クラブとの関わり方について、各関係機関と連携を取りながら情報を提供し、何らかの形で関わっていただくよう努めなければならない

### Ⅲ 参考資料

#### 調査票

## 老人クラブにおける「地域支え合い活動」アンケート調査

### 1 調査目的

高齢者が住み慣れた地域で、いつまでも自分らしく暮らすことができるよう国や県では「地域包括ケアシステム」の構築がすすめられており、介護保険制度では補えない高齢者の日常生活における支援の仕組みづくりに老人クラブの「地域支え合い・友愛活動」の取り組みが各地域で期待されています。

本会では、「高齢者による地域支え合い推進事業」として市町村老連または地区・単位クラブが取り組む「地域支え合い事業」に助成委託をする事業を推進していますが、昨年度市町村老連を対象に行った「地域支え合い事業に関するアンケート」では、約半数が助成委託を受けておらず、今後についても「実施する予定がない」という回答でした。

本調査では、各単位クラブの「地域支え合い・友愛活動」の実態調査を行い、活動状況や課題や意向等を把握し、今後地域支え合い活動を展開する老人クラブにより良い情報や研修の機会を設け支援することを目的とした調査です。

### 2 調査内容

- (1) 調査対象 山形県内単位クラブ 947カ所
- (2) 調査方法 市町村老連を通じて各単位クラブに調査を依頼し、各単位クラブから回答を得る
- (3) 調査期間 令和2年12月1日（火）～令和3年1月31日（日）まで
- (4) 調査実施主体 一般社団法人山形県老人クラブ連合会
- (5) 回収方法 調査票を記入後、添付されている返信用封筒にて各単位クラブが本会に直接郵送する

### 3 調査

※以下について、必要事項をご記入ください。

#### 問1 単位クラブ基本調査

記入日 令和 年 月 日

ふりがな		ふりがな	
市町村名		地区名	
ふりがな			
単位クラブ名			
ふりがな			
会長名			
ふりがな			
女性代表者名			
会員数	該当するところの□に✓を書いてください。 <input type="checkbox"/> ① 20人以下 <input type="checkbox"/> ② 21人～40人 <input type="checkbox"/> ③ 41人～60人 <input type="checkbox"/> ④ 61人～80人 <input type="checkbox"/> ⑤ 81人～100人 <input type="checkbox"/> ⑤ 101人～		

※以下の問いについて、団体の考え方として当てはまるところ、または近い答えのこの□に✓を書いてください。

問2 老人クラブ活動の中で、地域支え合い活動または友愛活動に取り組んでいますか。

- ① 取り組んでいる **問3** へ進んでください
- ② 取り組んでいない **問6** へ進んでください

※ここからは、問2で「①取り組んでいる」を選んだ方にお聞きします。

問3 地域支え合い活動・友愛活動の取り組みについて、どのような活動をしていますか。

- ① 何らかの理由で外出が困難な高齢者宅への見守り・友愛訪問
- ② 一人暮らしや高齢者世帯のゴミ出しや玄関付近の除雪・掃除、買い物支援などの生活支援
- ③ 地域にある老人ホームへの慰問や施設内でのボランティア活動
- ④ 地域のサロン活動
- ⑤ 学校や老人福祉施設などへタオル等の寄贈活動
- ⑥ その他【具体的に： \_\_\_\_\_】

問4 地域支え合い活動・友愛活動をするなかで、日頃感じている悩みや課題などを教えてください。(複数回答可)

- ① 一緒に活動する仲間が少ない
- ② 活動するための資金が足りない
- ③ 活動する場所や機会が少ない
- ④ 運営(協力)する会員の高齢化
- ⑤ 地域での活動が必要とされているかわからない、やりがいを感じられない。
- ⑥ 活動する時間が少ない
- ⑦ その他【具体的に： \_\_\_\_\_】

☆裏面の記入もご協力ください。→

問5 今後の地域支え合い活動・友愛活動について、意向をお聞きかせください。

- ① 現在の活動を維持し継続していきたい
- ② 活動内容を拡大し活動を継続したい
- ③ 活動内容を縮小して活動したい
- ④ 活動を辞めたい
- ⑤ 一緒に活動する仲間を増やしたい
- ⑥ その他【具体的に： \_\_\_\_\_】

※ここからは、問2で「②取り組んでいない」を選んだ方にお聞きします。

問6 地域支え合い活動・友愛活動に取り組んでいない理由は何ですか。  
⑨その他を選んだ場合は、【 】に理由を書いてください。

- ① 活動する時間がないから
- ② 地域や会員から活動について理解を得られないから
- ③ 活動する資金や場所がないから
- ④ 地域からの要望がないから
- ⑤ 協力してくれる人や団体がないから
- ⑥ 活動に興味があるが、何をしたいかわからない
- ⑦ 興味がなく、今後もする予定はない
- ⑧ 現在は活動していないが、近い将来は実施したい
- ⑨ その他【理由： \_\_\_\_\_】

問7 今後、地域支え合い活動・友愛活動に取り組むとしたら、こういった条件があれば取り組みますか。  
⑦その他を選んだ場合は、【 】に具体的な条件を書いてください。

- ① 活動方法についての研修会など学習をする機会を設けてほしい
- ② 活動する際の相談や協力してくれる団体があれば取り組みたい
- ③ 活動するまでの準備資金が必要
- ④ 地域の若手世代が協力してくれるなら取り組みたい
- ⑤ 特に条件はなく、今後、取り組みを検討してもいいと思う
- ⑥ 取り組むつもりはない
- ⑦ その他【具体的な条件： \_\_\_\_\_】

※ここからは、全ての方にお聞きします。

問8 老人クラブが取り組む「地域支え合い活動・友愛活動」について、団体としての考え方を1つ選んでください。

- ① 地域の支え合いや助け合いは、老人クラブ活動として取り組めると思う
- ② 老人クラブではなく、社協や介護など専門職の人がするべきだと思う
- ③ 老人クラブは、“支える側”ではなく“支えてもらう”側だと思う
- ④ 50歳代から60歳代の世代が地域で取り組むべきだと思う
- ⑤ 高齢者の支え合い・助け合いは、高齢者同士でもできるが、個人で対応する方がいいと思う
- ⑥ その他【具体的に： \_\_\_\_\_】

問9 現在、老人クラブ活動全般において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により活動に苦慮されていること、工夫していることなど教えてください。  
(複数回答可)

- ① クラブの事業計画どおりに活動をしている
- ② 感染予防対策をして、できる限りの活動をしている
- ③ クラブの事業計画（内容）を変更して活動している
- ④ 活動をしたいが、場所の確保や資金確保などで困っている
- ⑤ 何をしてもいいかわからず、活動を自粛している
- ⑥ 感染が怖いので、全面的に活動を自粛している。
- ⑦ 活動する場所や時間に制限があるため、活動ができない。
- ⑧ その他【具体的に： \_\_\_\_\_】

問10 その他、ご意見がありましたら下記ご記入ください。